

(第1回変更) 契約変更の内容

契約変更年月日	令和 2年 5月 29日
契約業者名	(一財) 阪神高速道路技術センター
契約業者の住所	大阪府大阪市中央区南本町4-5-7
業務の名称	阪神高速道路構造物の維持管理に関する調査研究業務 (2019年度)
業務場所	阪神高速道路(株)の指定する場所
業務種別	土木設計
業務概要	打合せ・資料作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式 FEAによる設計高度化検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式 土工部舗装に関する調査・診断方法に関する検討・・・・・・・・ 1式 舗装の損傷分析による課題整理と解決策に関する検討・・・・・・・・ 1式 RC床版大規模更新工事の床版取替にかかる基礎検討・・・・・・・・ 1式 塩害環境下におけるかぶりコンクリートに関する検討・・・・・・・・ 1式 鋼上部構造耐震補強設計手引に関する検討・・・・・・・・・・・・ 1式 ICT舗装施工法検討・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式 接着剤を用いた当て板補修工法の設計・施工手引きの修正検討・・・ 1式 鋼管集成橋脚のモニタリング企画の検討・・・・・・・・・・・・ 1式 報告書作成・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1式
業務期間(自)	令和 1年 8月 7日
業務期間(至)	令和 2年 7月 31日
契約金額	46,310,000 円
変更金額	13,959,000 円 増
変更後の契約金額	60,269,000 円
変更理由	別紙のとおり

※金額は、税込みである。

変更契約理由書

阪神高速道路構造物の維持管理に関する調査研究業務（2019年度） 第1回変更

3. 2 業務内容

3. 2. 7 鋼上部構造耐震補強設計手引きに関する検討【変更】

当初、「鋼上部構造耐震補強設計手引き（案）」の改訂を想定していたが内容を精査したところ、道路橋示方書の改定内容および現在の上部工耐震補強事業方針を反映する上では新たに「上下部接続部耐震補強の設計手引き」として策定する方が合理的であることが分かり変更する必要が生じたため、内容を変更する。

3. 2. 9 接着剤を用いた当て板補修工法の設計・施工手引きの修正検討【追加】

過年度に「接着剤を用いた当て板補修工法の設計・施工手引き」の案文を作成している。直近の論文発表等で公表された最新知見と、土木学会の高力ボルトに関する委員会成果、大阪市立大学との共同研究成果を手引き案文に取り込み、修正案を作成する必要が生じた。本検討では、有識者による委員会を組織し、設計方法と施工方法の妥当性を評価しつつ検討を進める必要があり、本業務に追加する。

3. 2. 10 鋼管集成橋脚のモニタリング計画の検討【追加】

鋼管集成橋脚は阪神高速の独自技術として開発され、実橋でも適用され始めている。今後、現在進んでいる建設事業での更なる適用拡大を図るために、開発した構造の設計想定に対する実構造での成立性など技術の有効性を検証しておくことが急ぎ必要となった。検証する手法として、常時もしくは地震時のセンサーによるモニタリングにより、その有効性を評価することを目的にモニタリング計画を作成する。新規開発技術をモニタリングにより検証する手法では、これまでの開発経緯や実験や解析の検討結果を踏まえ、計画を作成する必要があり、高度な技術が要求される。適宜、学識者・外部有識者の意見を踏まえ検討を進める必要があり、本業務に追加する。

第5章 業務期間

上記の3.2.10項目の追加および新型コロナウイルス感染症の拡大防止の対応に伴い業務期間を下記の通り延期するもの。

(元設計)

(自) 2019 年 8 月7 日

(至) 2020 年 5 月29 日

(変更設計)

(自) 2019 年 8 月7 日

(至) 2020 年 7 月31 日

以上